

中国の政策金利引き下げについて

2012年7月9日

7月5日(現地時間)中国人民銀行は先月に続き貸出基準金利および預金基準金利の引き下げからなる追加金融緩和策を発表しました。

《政策金利引下げについて》

《政策金利変更内容》

- ・1年もの貸出基準金利を0.31%引き下げ6.0%へ
- ・1年もの預金基準金利を0.25%引き下げ3.0%へ

中国人民銀行は、先月の約3年半ぶりの貸出基準金利引き下げに続き、今月も追加利下げに踏み切りました。中国では、景気減速懸念が強まり、昨年末から預金準備引下げを行い金融緩和策に転じましたが、今回の政策金利の連続利下げは、共産党大会前に景気浮揚策の一環として、さらに積極的な姿勢を示したとみられます。

《今後の見通し》

●経済成長見通し

OECD(経済開発予測機構)によると、中国の2012年の実質GDP成長率は、8.2%と減速基調にありますが、2013年には回復基調に向かい実質GDP成長率は、9.2%と予測されています。(OECD Economic Forecast Summary 2012年6月)。

中国では、長引く欧州債務危機問題の悪影響により、特に輸出が減速傾向にあります。しかし、2012年後半からは、今回の追加利下げなどの効果もあり、個人消費などの内需を中心に回復の兆しが強まると期待されます。

●為替見通し

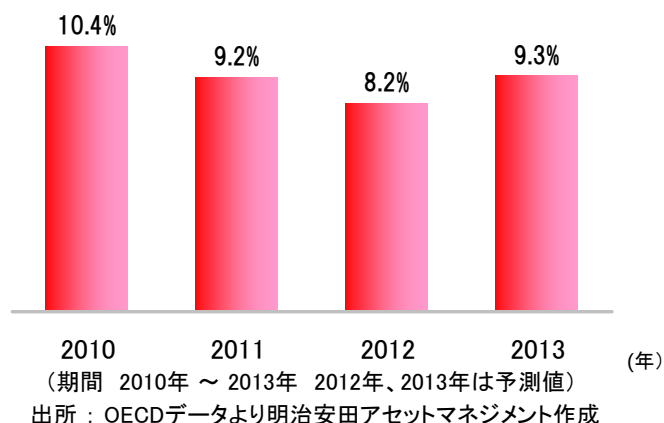
中国経済の成長を背景に上昇余地があるとされる人民元ですが、2010年6月頃から続いてきた対米ドルでの上昇局面が一服し、2010年4月末頃からの約2ヶ月間は軟調に推移しました。ただ、通貨の強弱はその国の国力を表すと言います。中国経済が中長期的に成長を続けるならば、人民元の穏やかな上昇は今後も続くことが期待されます。

《中国の政策金利》

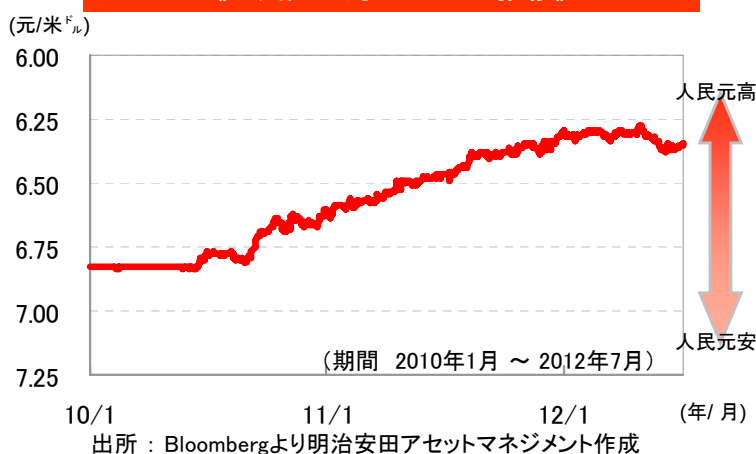


出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

《中国の実質GDP成長率》



《人民元の対ドルレート推移》



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。